

# プレゼンテーションアワー 2020 年度 活動報告書

## 1. Introduction

*Presentation Hour* is a casual event with the purpose of *ideas worth sharing*, which anybody can share anything from their hobby to possession. The specialty of this event is that the presentations made here consist of 20 slides, 20 seconds each. It is opened to all Nagoya University members free of charge, and many people from different faculties, nationalities, perspectives, and values can join and listen to the presentation. We aim to create a relaxed atmosphere throughout the event by preparing coffee and snacks. *Presentation Hour* first started as a special event of *Small World Coffee Hour* in 2014, and ever then, it became an independent group and is held regularly. We aim to hold an event every semester, twice a year. Our belief is to create a platform for students, not only for regular students but also for international students who have different backgrounds or studies, to share their ideas and feelings. Therefore, *Presentation Hour* is held in both Japanese and English. Year by year, the scale of the event has been increasing through our effort of searching for speakers, improving the event with creativity, and organizing the event more smoothly. This year, we had two major changes in our activity. Firstly, due to COVID-19, all our events and preparations were switched to online. We were physically separated but, by using zoom, we were able to stay connected virtually, and quickly adapted to the situation. By holding our events online, we were able to gain more participants starring alumni and students who are living overseas or other areas in Japan. Despite the concerns of using online platforms, we were able to seek potentials in them. Secondly, this year, we collaborated with Nagoya University International Students Association, NUFSA. NUFSA staffs put in efforts by giving us new ideas and some of the members also gave a presentation. It was a great pleasure working with them. Our next goal is to continue recruit organizers and holding the event. Depending on the situation, we hope to hold our events again in face-to-face, but also use online technology and adjust to the new-normal lifestyle of post-COVID.

## 2. 団体紹介

文責：鈴木有咲

*Presentation Hour* (以下プレゼンアワーと略)は、「Small World Coffee Hour」(以下コーヒーアワーと略)の特別企画として 2014 年に発足し、以来、年に 2 回、各学期に 1 回を目標にプレゼンテーションイベントとして企画・運営をする団体である。ただのプレゼンテーションではなく、20 枚のスライド、それぞれが 20 秒と、簡潔に内容を伝えることが求められている。そして、留学生や日本人学生など多様な文化や専門をバックグラウンドとして持つ学生がアイデアを自由に共有する場所を提供することを目的としている。

発足以来、プレゼンターの募集やイベントの運営の工夫、マニュアルを作成して組織運営を円滑化することで、年々プレゼンターの参加者募集も増大し、規模が大きくなっ

ている。2020年度は、コロナウイルスの影響からオンラインにてイベント開催を行った。またNUFSAと連携することで、より幅広い層の学生にも参加してもらうことができた。春学期のプレゼンアワーは、例年1回であるところ、6月と7月の計2回開催した。オンラインは対面方式と比べ、長時間視聴によって参加者が疲労を感じやすいため、開催時間の短縮を意図し2回のイベントに分割した形だ。秋学期のプレゼンアワーでは、プレゼンアワーOBの方にも登壇して頂いた。オンライン開催は、世界各地からの参加を可能とするため、コロナウイルス後も、対面との同時進行をする等、オンラインを取り入れていくことを前向きに検討している。

## 2-1. 理念

留学生、日本人学生を問わず、プレゼンターが自分の経験、活動や興味を発信し、オーディエンスがそうしたプレゼンターの活動や考え方を知ること、参加者全員の知見を広げていくことを目標としている。それぞれの文化的背景を考慮した上でプレゼンターとオーディエンス、もしくはオーディエンス同士が交流を深めることができるように心がけている。

## 2-2. 特徴

- 有志の学生が中心となって活動を行っている（学部・学年・国籍は問わない）。
- 誰でも参加できるようなオープンなイベントを1学期に1回開催できるように企画・運営を行っている。
- プレゼンターには様々な価値観、文化や専門をバックグラウンドとして持つオーディエンスに対しての配慮（言語、文化、専門知識）をしていただくことを心掛けている。

## 3. 活動紹介

### 3-1. 活動について

文責：若杉美穂

#### ●ミーティング

週に1度（毎月3～4回）の頻度でお昼休みにZOOMを使用しオンラインミーティングを行い、2ヶ月弱の準備で1回のプレゼンアワーのイベントを企画している。ミーティングではプレゼンター募集のチラシ作り、プレゼンターのとの顔合わせ、リハーサル、プレゼンアワー当日のスケジュール相談、担当役割決めなど行っている。

#### ●広報活動

本年度はオンラインでの開催、かつ登校する学生が少なかったことからSNSやメールでの周知に力を入れた。具体的には留学生相談室や各学部、ならびにG30の先生方に広報を依頼し、イベント告知のメールを流した。Facebookではイベント前約1ヶ月間をかけ、プレゼンテーションの内容やプレゼンターの紹介などを行うことでイベント周知を図っている。

#### ●NUFSA 連携

本年度のプレゼンテーションアワーは名古屋大学留学生会（NUFSA）と共同で開催をした。NUFSAと連携することで、留学生への周知がさらに強力になり、日本語基準・英語基準で学ぶ学生が会える機会となったと考えている。

### 3-2. 2020年度の活動内容

#### 【6月・7月 2020年度春学期プレゼンテーションアワー】

文責：佐々木あみ

今期は、コロナ禍の影響があり、例年とは形を変え、オンラインでイベントを行う初の試みとなった。対面方式に比べ、オンラインでは長時間のイベントにすると参加者が

疲れてしまうことを考慮し、1回のプレゼンターを少なくする関係で、イベントを2回に分けて行うこととなった。

①春学期 第1回プレゼンテーションアワー 「Presentation Hour 2.0」

日時・場所： 6月24日（水）17:00-18:00

参加人数：約15人

（オンライン開催のため、途中入退出分を記録することができなかった）

当日の流れ：

- 17:00 イベント開始
- 17:05-17:15 アイスブレイク
- 17:15-17:35 プレゼンテーション1
- 17:35-17:55 プレゼンテーション2
- 17:55- クロージング

●イベント概要

2020年度はNUFSAと提携してイベント運営を行ったため、NUFSAから3名の学生が協力してくれた。初のオンライン開催ということもあり、様子見を兼ねて、プレゼンターは運営メンバー1人と、NUFSAメンバー1人が担った。どちらも英語での発表ではあったが、日本語での要約や通訳を通して、日英どちらの話者も参加できる形になった。

また、参加者が緊張感なくイベントを楽しめるよう、会の最初にはミニクイズを行った。

●実施した感想

初のオンライン開催ではあったが、通信の問題などはあまり発生せず、スムーズに進行することができた。また、参加者からの質問も、ZOOMのチャットに書いてもらう形で募集をしたところ、途切れることなく多くの質問があり、活発な会となった。また、今回の司会はNUFSAメンバーが英語で、プレゼンテーションアワーメンバーが日本語で行ったので、日英どちらでも分かりやすいものになるとともに、とても明るい雰囲気になった。

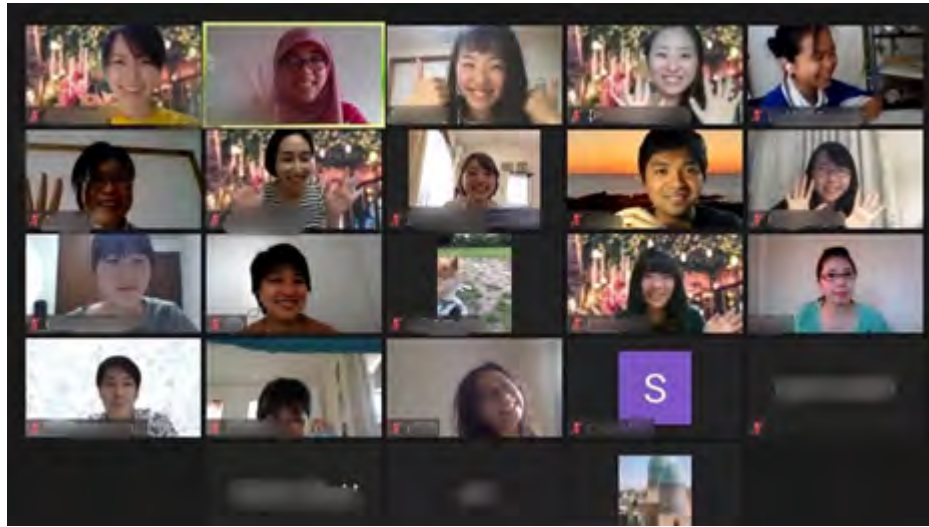
●気が付いたこと（改善点など）

来てくれたオーディエンスは、プレゼンターや運営メンバーの知り合いが多いように感じた。毎回の反省だが、もう少し参加者が増えると良いと思う。一方で、広報からイベントのことを知り参加してくれた方は、Eメールで情報を得た方が多かったので、今後も有効活用していこうと思う。

●イベントポスター



●イベントの様子



②春学期 第2回プレゼンテーションアワー 「Presentation Hour 2, 0」

日時・場所：7月22日（水）15：00～17：00

参加人数：約15人

（オンライン開催のため、途中入退出分を記録することができなかった）

当日の流れ：

- 15：00 イベント開始
- 15：05～15：15 アイスブレイク
- 15：15～15：40 プレゼンテーション1
- 15：40～16：05 プレゼンテーション2
- 16：05～16：10 休憩
- 16：10～16：35 プレゼンテーション3

●イベント概要

前回同様、オンラインでの開催となった。前回の経験を踏まえ、プレゼンターを一人増やして、運営メンバーから1人、外部から2人のプレゼンターさんを招いての会になった。プレゼンテーションはまた、前回行わなかったブレイクアウトルームを用いての参加者間交流の会も予定した。

●実施した感想

前回同様、参加者の緊張をほぐすようなミニゲームを行い、明るい雰囲気イベントを開始することができた。プレゼンテーションはどの内容もとても興味深く、オーディエンスの方からたくさんの質問を頂いた。学生プレゼンターにとっても、自分の経験をプレゼンテーションという1つのアウトプットにまとめ、更に英語で話すことで、大きな成長と充実感が得られたようである。

●気が付いたこと（改善点など）

ZOOMのブレイクアウトルームの機能が使えず、参加者同士の交流の機会を設けることができなかったのが反省点である。  
 また、今回はプレゼンターの人数が多かったため、途中退出する人が目立ったように思える。やはり長時間のイベントだと疲れてしまうため、質疑応答の時間を短くするか、もしくはプレゼンターの数を減らすことを考えたほうが良いかもしれない。  
 また、参加申し込みをしたものの当日参加していない人も多かった。リマインドメールを1週間前くらいに一度送るのがいいかもしれない。

●イベントポスター



●イベントの様子



【12月 2020年度秋学期プレゼンテーションアワー】

文責：鈴木有咲

「第14回プレゼンテーションアワー ～世界に広がる20秒～」

日時・場所：12月17日（木）16:30～18:30 @ZOOM

参加人数：約20人

当日の流れ：

- 16:20- 受付開始
- 16:30- アイスブレイク
- 16:45- プレゼンテーション1
- 17:10- プレゼンテーション2
- 17:35- 休憩
- 17:45- プレゼンテーション3
- 18:10- イベント終了、写真撮影等

●イベント概要

春学期同様、オンライン開催となった。プレゼンアワーOBの方が1名、スペシャルゲストとしてプレゼンをして下さった。プレゼンターのうち1名が、都合が合わず参加を見合わせる事となったが、事前に相談して下さっていたため、問題なく対応することができた。また、日英話者のプレゼンターばかりであったため、プレゼンの前半後半で日英を切り替えて話していただいた。そのことによって、日英どちらの話者の参加者にとっても、より惹き付けられるプレゼンとなった。

●実施した感想

始めのアイスブレイクのおかげもあり、終始和やかな雰囲気で行うことができた。3名とも、素敵な生き方や考え方が伝わるような内容のプレゼンをして下さったため、私を含め多くの参加者が勇気をももらったと思う。また、OBの方の社会人ならではのプレゼンは新鮮で刺激となったため、是非今後もOBOGの方々にゲストスピーカーとして参加頂きたいと思った。

●気づき（改善点など）

オンライン開催であると、参加者が国内外から集まることが非常に良い点だと思った。社会人の方からもオンラインであれば参加しやすいと好評だった。今後対面方式が可能となった際にも、対面とオンラインの同時進行やストリーミング配信をするなどすると、より多くの人に参加できるかもしれない。また、名大生だけでなく、名大附属高校の学生や岐阜大学の学生の参加も促進できるように、広報の改善が必要だと感じた。



●公募用ポスター（日英）

MEIDAI INTERNATIONAL CULTURAL EXCHANGE EVENT

# オンライン プレゼンテーション アワー

お申し込みは  
こちらから！



**12/17 (木)**  
**16:30-18:30**

スペシャル  
OBゲスト！

URL: <https://forms.gle/3XJqFopQMRQaXnCq6>

<b>若杉美穂</b> だから私は旅をする 一臆病な大学生 の57カ国1人旅ー	<b>川村彩</b> ドイツで 過ごした 1年間	<b>ガン ファイフイ</b> 広島への旅	<b>佐藤祥平</b> Naija Life
--	-----------------------------------	------------------------------	---------------------------

主催：プレゼンテーションアワー実行委員会&名古屋大学留学生会  
&名古屋大学国際教育交流センターアドバイジング部門  
お問い合わせ先：presentation.hour@gmail.com

MEIDAI INTERNATIONAL CULTURAL EXCHANGE EVENT

# Online Presentaion Hour

Please register  
from here



**12/17 (Thu)**  
**16:30-18:30**

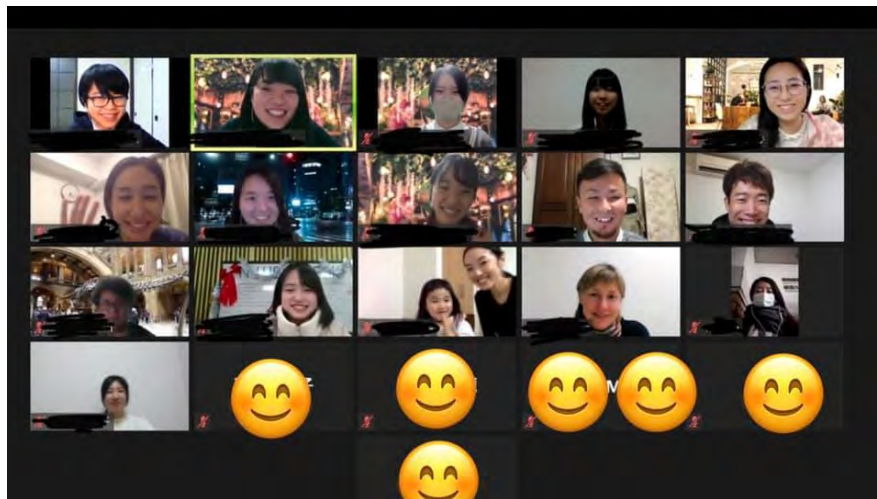
Almuni  
Special  
guest!

URL: <https://forms.gle/3XJqFopQMRQaXnCq6>

<b>Miho wakasugi</b> 57-country traveling by a timid girl	<b>Aya Kawamura</b> The Year I Spent in Germany	<b>Gan Hui Hui</b> A Trip to Hiroshima	<b>Shohei Sato</b> Naija Life
--	--	--	--------------------------------------

organizer: International Education & Exchange center(IEEC), Advising & Counselling Services,  
Nagoya University Presentation Hour & Nagoya University International Student  
Association(NUFSA)  
Inquiry: presentation.hour@gmail.com

●当日の様子



**【Inspire Together Online Seminar】**

**文責：若杉美穂**

「Inspire Together Online Seminar」

日時・場所：2020年12月5日（土）13:00-17:00 Zoomにて開催。

第1部：13:00-14:45

Presentation Hour：コロナ禍における Challenge & Creation

第2部 15:00-17:00

コロナ禍における大学生活 ～共に理想のキャンパスを作ろう！

参加人数：約30人

●イベント概要

本イベントは、国際教育交流センターアドバイジング部門が主催し、一橋大学・名古屋大学・立命館大学・立命館 APU 大学が合同で行った。私たちプレゼンテーションアワーチームも学生スタッフとして準備や当日の運営に携わった。

イベントは2部構成で、第1部は「Presentation Hour：コロナ禍における Challenge & Creation」として、一橋大学・名古屋大学・立命館大学の学生がコロナ禍における交流活動を紹介しあった。形式はプレゼンテーションアワーと同様、20枚のスライドを20秒ずつ表示する形で行われた。日本語基準・英語基準で学ぶ学生が双方集うイベントのため、発表も両言語を使用するようプレゼンターの方々に依頼した。

第2部はコロナ禍における大学生活 ～共に理想のキャンパスを作ろう！～と題して、立命館 APU 大学の平井先生、名古屋大学の高木先生による参加型のワークショップが行われた。ワークショップでは、事前アンケートでの「話したい言語」の回答状況により4人程度のグループが生まれ、それぞれブレイクアウトルームに分かれて、お互いの関心や将来の目標について話し合った。

●実施した感想

4大学合同のイベントとあって、普段は交流することのない学生同士の繋がりが生まれたことが何よりの収穫だと感じる。他大学の活動内容やコロナ禍での工夫を知ること、参加者それぞれが新たな発見を持ち帰ることができた。本年度は新型コロナウイルスの影響で、交流活動を行うにあたり苦労が多かったが、同志と出会うことで、活動へのモチベーションを高められたはずである。

第2部の参加型研修では、それぞれの夢や思いを真っ直ぐに語り合うことで、2時間という限られた時間の中で濃密な交流をすることができた。先が見通せないコロナ禍の中でも、前向きに未来を見据える貴重な時間であった。

●気づき（改善点など）

本イベント終了後、他の大学で国際交流に勤しむ学生から連絡をもらうことがあった。コロナ禍の中で試行錯誤しながら国際交流活動に励む学生は非常に多いが、他の大学・団体との交流は少ない。今回のように、他団体の活動の様子を知ることによって新たな気づきがあり、自分たちの活動をよりよくしていけるため、国際交流に励む学生のコミュニティ形成は非常に意義のあることだと感じる。今回の4大学に止まらず、さらに今後この繋がりが拡大していくことを願うばかりである。



●公募用ポスター（日英）



●当日の様子



#### 4. メンバー構成と心がけていること

##### ● 4年生

若杉美穂（文学部人文学科）

非日常の空間と新たなアイデアに出会う面白さを存分に楽しんでいただけるよう、リラックスした雰囲気づくりを心がけています！

##### ● 3年生

佐々木あみ（法学部法律政治学科）

せっかくのアイデアシェアリングと国際交流の素敵な機会、できるだけたくさんの方に来て頂けるよう、広報に力を入れています。

鈴木有咲（法学部法律政治学科）

様々な人のお話を様々な人たちと共有できるような空間づくりを意識しています。どなたでも参加しやすいようなフレンドリーな雰囲気を作るため、まずは運営メンバーも全力で楽しむことを忘れずに活動しています♪

小島未莉（経済学部経済学科）

様々な専門、バックグラウンド、または価値観をもったプレゼンターや、参加者が繋がることのできるプラットフォームを目指して募集したり、広報したりしています。私自身も毎回たくさんの考え方に刺激を受けているのでより多くの人に知ってもらいたいです！リラックスして気軽に参加できるイベントです！

#### ～NUFSA メンバーからのメッセージ～

This is Anny from NUFSA. Inspire Together with Presentation Hour was really fun! We hosted the event together and discussed how student-led org can improve during Covid-19 with organizations from other universities! It was really helpful and I would like to thank Presentation Hour and Takaki sensei for holding this event with NUFSA!

-Anny, NUFSA

It has been a good experience organising and facilitating these online events! Hopefully we can go offline in the near future and forge stronger connections with and between the audience and speakers.

-HuiHui, NUFSA

I think presentation hour was very interesting and unique to convey ideas! I really enjoyed it as I learnt some new topics I did not know before!~ Also, I met people from different backgrounds which inspire me to do better!

-Raissa, NUFSA